

# 疫学調査「口腔がん登録」への御協力をお願い

2024 年 2 月 21 日

パナソニック健康保険組合松下記念病院 口腔外科では、信州大学が研究代表機関として日本口腔外科学会および日本口腔腫瘍学会と協力して口腔がん登録を行っています。患者さんの治療記録等を集積し、将来の口腔がん治療の向上に役立てるものです。あなたの治療記録も登録させて頂きたいと思っております。

## 注意事項

- この研究はパナソニック健康保険組合松下記念病院治験審査委員会で審査され、承認を受けて行われています。
- この研究への協力は自由意志であり、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。
- 通常の診療に必要な情報、検査、治療に関する内容を、研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。
- 患者様を直接特定できる個人情報削除した上で集計された情報等を利用します。
- 研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。
- ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

倫理審査承認番号	23—R006
研究課題名	疫学調査「口腔がん登録」
所属(診療科等)	パナソニック健康保険組合 松下記念病院(口腔外科)
研究責任者(職名)	田中 克弥 (部長)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2027年12月31日 本調査は学会が継続的に行う事業であり、総括責任機関が5年ごとに調査の継続を判断し、研究期間の更新を行います。
研究の意義、目的	①口腔がんの発生頻度、年次推移、地域差、リスクファクター、病態、予後などを正確に把握するため。 ②将来の口腔がん研究のための基礎的資料とするため。
対象となる患者さん	2018年1月1日以降に本院および共同研究機関で口腔がんと診断された患者さん
利用する診療記録	性別、診断時年齢、来院経緯、重複がんの有無および内容 喫煙、飲酒、アルコールに対する反応性、慢性的刺激の有無、緑黄色野菜の摂取 診断日、初発/多発、発生部位、側性、病理組織診断名、進展度(TNM分類)・病期、治療の有無、治療態度、治療内容、原発巣の再建の有無およびその内容、pN分類 経過観察結果(腫瘍の有無、生存の有無、重複がんの有無および確定日)、最終経過観察日または死亡日とその時の病態(腫瘍の有無、生存の有無、死因)
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	個人が特定できない電子的データにより提供を受けます
研究方法	診療記録より上記の内容を収集し、口腔がんの疫学調査を行います。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	公益社団法人日本口腔外科学会(理事長:池邊哲郎) 一般社団法人日本口腔腫瘍学会(理事長:太田嘉英)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:栗田 浩
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 田中克弥(口腔外科・部長) 電話:06-6992-5566(パナソニック健康保険組合松下記念病院 臨床研究管理室)